**競技規則**日本ティーボール協会（競技規則より一部抜粋）　　　　 **が留意箇所**

　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　 　　　**（一部ローカルルール適用）**

【競技場と用具について】

　①競技場（体育館）

　　塁間　１２ｍ（ダイヤモンド）

　　両翼　２２ｍ　※屋外の場合はフリーとする。

　②用具（NPO法人日本ティーボール協会公認品推奨）

　　使用球　JTA公認球　ケンコーティーボール１１インチ（ポリウレタン／緑色）JTA-KT11

　　バット　幼児～小学１・２年生用バット

※表面ポリウレタンバット（Sサイズ若しくは70ｃｍ）

※ケンコー幼児用ティーボールバット61ｃｍ若しくは69ｃｍ

**※M・Lサイズや84cmバットは使用禁止**

　　グラブ　使用可能（素手でもよい）

　　スパイクは使用禁止とする（アップシューズは可）

　③バッターズサークル

本塁プレートの角を中心として、半径３ｍの円を描く。打者はこのサークル内で打撃を行う。

④バッティングティー

バッティングティーは、本塁プレートの後方５０㎝以上１ｍ以内の間に置く。

【競技者（登録者）について】

1. 競技者（打撃者、守備者）は、児童７～９名と大人１名の合計８～１０名とする。

　②児童は１～９番のビブスを着用する。

③選手登録児童は７名以上とする。

【チーム編成について】

①年長児及び小学１、２年生の男女児とする。

【守備規定について】

　①本塁手を大人とし、その他のポジションを児童が守る。

②本塁手は、打者が打撃を完了するまでは、バッターズサークルの外（ホームベース（バッティングティー）後方（打球の当たらない場所）にいなければならない。

　③全ての守備者は、打者が打撃を完了するまでダイヤモンド内に入ってはいけない。

④打者が打ったボールを守備者（大人を除く）は本塁へ送球する。本塁にいる大人がティースタンドにボールを載せる。

　※ティースタンドにボールを載せることができるのは本塁手（大人）のみ。

⑤ノーバウンドでボールをキャッチした場合はアウトとし得点は入らない。

⑥走者へのタッチアウトは適用しない。

⑦本塁手（大人）が打球を処理することはできない。

⑧打者毎に守備位置変更のためのタイム延長は認めず、打者の準備が整い次第、試合を再開する。

　　※打者によっての大幅なシフトチェンジは認めない。

⑨走者との交錯を避けるため、本塁手はフェアゾーンに入ってボールの送球を待つことは認めない。

【打撃規定について】

　①打者は審判が「プレイ」と宣告した後、ティースタンドのボールを打つ。

　②三振によるアウトはなし。

③ファウルは何回打ってもアウトとしない。

④打者の打ったボールが、本塁プレートから３ｍの円の中にあるときはファウルとする。

⑤バントやプッシュバントは認められない。

※ティーボールは、フルスイングで遠くにボールを飛ばすことが醍醐味であり、意図的にハーフスイングやダウンスイングを行ってはいけない。

【走塁規定について】

①打者は正しく１塁ベース、２塁ベース、３塁ベース、本塁ベースを踏む。

②塁上にランナーは残らず、常にランナーなしの状態からゲーム（打撃）を行う。

【試合規定について】

①２チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側の全打者（大人を除く）が打撃を完了した時点で攻守を交代し、予定イニングを終えたとき、得点の多いチームが勝者となる。

※予定イニング終了時に同点の場合は1イニング目の得点が多いチームを勝者とする（1イニング目の得点が同じ場合は2イニング目、３イニング目により判断する。

※すべてが同点場合は抽選を行い決定する。

②球審によって、「プレーボール」が宣告されると、試合は開始される。

③フェアボールとファウルボールは、野球やソフトボールと同じであるが、バッターズサークルフェア地域内のライン上で野手がボールに触れたり、ボールが止まったときはフェアボールとする。

④インフィールドフライ、タッチアップのルールは適用しない。

⑤試合３イニング（30分）とし、攻守交替は駆け足で行う。

⑥選手交代は主審に告げ、ビブスの取り替えを行い出場する。一度出場した選手の再出場は認めない。

⑦先攻・後攻は代表者のじゃんけんにて決める。

⑧メンバー表は提出しなくてよい。

【得点規定について】

①守備チームの本塁手（大人）がティースタンドにボールを載せて手を離した時、打者が回った塁の数を得点とする。

　※１塁…１点、２塁…２点、３塁…３点、本塁…４点

※ベースの踏み忘れがあった場合、踏み忘れた塁の数を減算する。

（例）打者がダイヤモンドを一周し本塁まで帰ってきたが、１塁ベースと3塁ベースを踏み忘れた場合、▲２点（減点）とし、得点は２点のみとする。

【審判員規定について】

①審判は２人制で行う。２人は球審と塁審（1塁）に分かれる。

②球審は、打者の正面横に立ち、３塁と本塁周辺のプレーをジャッジする。

③塁審は、１塁手（ファーストベースマン）の後方、１塁ファウルラインに立ち、１塁と２塁周辺のプレーをジャッジする。

④両審判は「フライ・ライナーのノーバウンドでのキャッチの有無、ベースの踏み忘れがないか、ティースタンドにボールを載せて手を離した時の打者の回った塁の数」をジャッジし、球審は毎打者毎の得点をコールする。

⑤バットを放り投げる行為があった場合は優しく指導を行う。

【記録員規定について】

　①チーム記録員は、球審がコールする得点をスコア記入シートに記入し、試合終了後、両チーム記録員間で得点の確認を行う。

【その他】

①その他のルールに関しては、日本ティーボール協会公式規則に準拠する。

※小学校低学年（小学１、２年生）及び年長児の試合であることを十分理解し、安全にティーボールの“楽しさ”を選手らが体験できるようご配慮願います。

2023年2月　作成

QR コード

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。とやまティーボール推進委員会のyoutubeチャンネルはこちら→